

平成25年10月17日

静岡県知事 川勝 平太様

民主党・ふじのくに県議団

代表 野澤 義雄

次期基本計画に対する意見提出について

川勝知事は強力なリーダーシップの下で、新東名高速道路の前倒し開通、富士山の世界文化遺産登録、内陸フロンティア構想の策定及び総合特区の指定など、目に見える成果と実績を残されてきました。民主党・ふじのくに県議団といたしまして、高く評価をいたします。

一方で、東日本大震災を契機としました地震や津波への不安の高まり、なかなか景気の回復の実感に乏しい経済・雇用情勢など、県政の喫緊の課題につきましては、早急に解決していく必要があります。

これらの課題を解決しつつも、日本を代表し、国内外からの憧れを集める魅力ある「富国有徳の理想郷 ふじのくにづくり」の実現に向け、その取り組みを加速するよう求めるものであります。

なお、本県を取り巻く財政状況は、伸び悩む県税収入、増加する県債残高など、一層厳しさを増しております。危機意識を持って行財政改革を推し進め、「ふじのくにづくり」を着実に実現するための財源を確保するとともに、持続可能な静岡県政の基盤を築いていくことを併せて求めるものであります。

本日、私たち民主党・ふじのくに県議団は、「ふじのくにづくり」の総仕上げとなる総合計画の次期基本計画の策定に当たり、別紙のとおり意見を提出いたします。

1 全体を通じた意見

区分	意見
・ 持続可能な自治体経営	・ 地方財政制度のあり方について、国への意見反映に努めるとともに、危機意識を持って自立した自治体経営を進めるべきである。
・ “ふじのくに”づくりの認識の共有化	・ “ふじのくに”らしさを表現する言葉を大切にすべきである。その一方で、県民に分かりにくい表現もあるため、言葉の説明を丁寧にすべきである。

2 戦略別の意見

○1 「命」を守る危機管理【危機管理・災害対策】

区分	意見
・ 「事前復興」の推進	・ 内陸のフロンティアを拓く取組において、「事前復興」の考え方を明確に打ち出していくべきである。
・ 「地震・津波対策アクションプログラム」の推進	・ 将来人口推計や中長期的な財政見通し等に基づいて、実行が可能な具体的計画と数値目標を立て、着実に推進すべきである。
・ 中長期的ビジョンに基づいた土砂災害対策の推進	・ 短期的に優先すべき対策、整備箇所を明らかにし、従来型の事業・対策では長期間を要するものについては、命を守ることを最優先としながらも、将来にわたって子孫に安全・安心な地域を引き継ぐという発想に基づいた施策を実施すべきである。

○2-1 「有徳の人」づくり【教育】

区分	意見
・ 教育行政改革の推進	・ 「教育行政のあり方検討会」の提言を総合計画に反映させ、具体的な目標値を設定し、改革を着実に実行すべきである。
・ グローバルに活躍できる人材の育成	・ 外国人留学生の支援とともに、県内のより多くの児童・生徒・学生が他文化に接したり、留学できるように環境整備を推進すべきである。
・ 地域と共に子どもを育む体制の推進・強化	・ コミュニティ・スクール導入を支援すべきである。 ・ 市町や学校の図書館の利用状況等を具体的に把握した上で、利用率の向上を目指すための施策を実施すべきである。

○2-2 「憧れ」を呼ぶ“ふじのくに”づくり【文化・観光】

区分	意見
・ 東京オリンピックに向けた取り組みの推進	・ 富士山及び構成資産の保護管理を着実に進めるとともに、更なる国内外の観光客誘致と受け入れ体制の整備に努めるべきである。 ・ オリンピック出場者数を目標に設定し、トップアスリートの育成に努めるべきである。
・ 富士山静岡空港の路線の着実な充実	・ 実現が十分可能な目標を設定すべきである。 ・ 国際情勢に左右されにくい路線の確保に努めるべきである。

○3-1 一流の「ものづくり」と「ものづかい」の創造【経済産業】

区分	意見
・ 静岡新産業集積クラスターの推進	・ ファルマバレー、フーズサイエンスヒルズ、フォトンバレーの取り組みを更に強化していくべきである。
・ 県産材の活用	・ 県産材の需要拡大、県産材の安定供給に向けた取り組みを更に強化していく必要がある。

○3-2 「和」を尊重する暮らしの形成【くらし・環境】

区分	意見
<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギーの自給率の向上 	<ul style="list-style-type: none"> エネルギーの地産地消と温室効果ガス削減策を一体化して取り組む必要がある。 温泉熱、地熱、太陽熱、廃熱等の熱利用の促進を強化する必要がある。 洋上風力等の海洋エネルギーの活用を一層推進すべきである。

○3-3 「安心」の健康福祉の実現【健康福祉】

区分	意見
<ul style="list-style-type: none"> 安心して子どもを産み育てられる環境整備 	<ul style="list-style-type: none"> 「子育ては尊い仕事」として社会的に評価される仕組みづくりを明確に打ち出し、全県に展開していく必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> 介護環境整備の促進 	<ul style="list-style-type: none"> 働く現役世代の介護負担が大きくなってきており、ワークライフバランスの観点からの支援が必要である。
<ul style="list-style-type: none"> 安心医療の提供 	<ul style="list-style-type: none"> 医療人材確保をさらに推進するべきである。

○4-1 ヒト、モノ、地域を結ぶ「基盤」づくり【交通基盤】

区分	意見
<ul style="list-style-type: none"> 交通ネットワーク機能等の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 内陸フロンティアを拓く取組を推進するためにも、スピード感を持って交通ネットワークを構築し、物流拠点の整備を進めるべきである。
<ul style="list-style-type: none"> 富士山静岡空港の魅力向上 	<ul style="list-style-type: none"> 先導的空港経営検討会議の答申を踏まえた魅力ある空港づくりと経営改革を進めるべきである。 東京オリンピックを見据え、首都圏空港としての位置付けを進め、空港新駅の設置に向けて取り組みを強化すべきである。
<ul style="list-style-type: none"> インフラ資産(社会資本)の最適化 	<ul style="list-style-type: none"> インフラ資産については、長寿命化を進めるとともに、規模最適化についても検討を進めるべきである。

○4-2 「安全」な生活と交通の確保【防犯・警察】

区分	意見
<ul style="list-style-type: none"> 警察活動基盤の強化 	<ul style="list-style-type: none"> 県民が安心して生活できる警察施設の整備を進めるべきである。 警察官の大量退職時代を迎えることから、確実な技能伝承と若手警察官の早期育成を強化し、治安水準の維持に努めるべきである。
<ul style="list-style-type: none"> 新たな犯罪の抑止 	<ul style="list-style-type: none"> サイバー犯罪や振り込め詐欺などに備えた対策を進めるべきである。

○4-3 地域主権を拓く「行政経営」【経営管理・企画広報】

区分	意見
<ul style="list-style-type: none"> 財政の健全化 	<ul style="list-style-type: none"> 新公会計制度の活用など、新たな行政経営ツールを活用し、職員の財政意識を高め、意識改革を図るべきである。 ファシリティマネジメントの推進など新たな行政経営手法により、一元化で効率的な資産経営を進める必要がある。 税収納対策のほか、ネーミングライツなどの歳入確保に取り組む必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> 組織のあり方 	<ul style="list-style-type: none"> 社会の変化を踏まえ、企業局や外郭団体のあり方を抜本的に見直すべきである。

3 「地域づくりの基本方向」についての意見

○伊豆半島、東 部

区分	意見
<ul style="list-style-type: none"> 海岸部の道路整備 	<ul style="list-style-type: none"> 首都圏からの観光客を増加させるため、伊豆縦貫自動車道とともに伊豆半島海岸部の道路整備を促進するべきである。
<ul style="list-style-type: none"> ファルマバレーの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ふじのくに先端医療総合特区の活用により、ファルマバレープロジェクトを一層推進するべきである。

○中部

区分	意見
・ 東静岡駅周辺、日本平地区の整備推進	・ 静岡市との連携を深め、東静岡駅周辺地域や日本平の開発構想を早期に具体化して整備を促進すべきである。
・ 南アルプス地域の自然環境の適正管理	・ リニア中央新幹線整備による環境負荷が最小限となるよう、静岡市と連携してJR東海と調整に当たるとともに、高山植物等への鳥獣被害対策を強化すべきである。

○志太榛原・中東遠

区分	意見
・ 静岡空港新駅の早期実現に向けた取り組みの強化	・ 東京オリンピックの開催までに新駅が実現できるよう、関係市町や経済団体と連携し、「県民運動」として、国やJR東海に働きかけていくべきである。
・ 世界農業遺産を活用した地域活性化	・ 世界農業遺産に登録された茶草場農法の保全と地域の活性化を図るべきである。

○西部

区分	意見
・ 津波対策の推進	・ 遠州灘海岸の防潮堤に静岡モデルの検討を進める必要がある。
・ 産業支援の充実	・ 既存産業の高度化支援や新たな結合を進める必要がある。 ・ 航空宇宙産業やデジタルコンテンツ産業など地域の技術を活かした産業形成を進めるべきである。